



久しぶりの「藍志」 冬休みを迎えるにあたって～家庭での学習を習慣（ルーティン）にしよう～

明日から冬休みです。待ちに待っていた生徒も多いことでしょうが、冬休みもいろいろなことに全力で頑張ってほしいです。今まで以上に、そして3学期に入っても、「目の前のこと全力で取り組む」これをテーマとして生活してほしいです。

先日、保護者のみなさまに、学校教育診断票に答えていただきました。全部で23の項目を設定しているのですが、その中で群を抜いて評価率の低い項目がありました。「子どもは毎日家庭学習ができる」「子どもの学力は向上している」の2つです。グラフを生徒の皆さんにも見てもらいます。

中学校の場合は、ほぼすべての生徒が入試を経験して次の進路に進んでいきます。これは小学校から中学校に上がるときのようにほぼ自動的に決まるものではありません。終業式のスライドにも入れたように「合格は自分の力で勝ち取る」ものなのです。

「入試は団体戦」とよく言われますが、これは、入試に向かうまでは仲間とともに頑張っていくという意味での団体戦であって、入試本番は絶対的に個人戦です。もちろんですが、入試本番は誰に頼ることもできません。ということで言うと団体戦・個人戦両方の意味合いがあります。入試まで、3年生はもうすぐ、2年生は1年後、1年生は2年後という時間的な長さは異なります。その長さが保護者が見る「家庭での学習」と「学力向上」のアンケート結果の差につながっているのは理解できます。もちろん保護者が見ている感覚と生徒自身が思っている感覚とではズレはあると思います。しかし、それはそんなに大きなズレとは思えません。

入試まであと少しの3年生、3分の1の生徒が、毎日は勉強していないと思われます。家庭学習は習慣（ルーティン）そのものです。この時期にこれって大丈夫でしょうか。

2年生、1年生のみなさん、学力ってすぐに身につくものではないということは分かっていると思います。このままでは、自信をもって入試にのぞむことができない人がものすごく多くなりそうです。早い段階で、家庭学習を習慣（ルーティン）にしてください。

努力が満足にできずにのぞむ入試は、不安で不安でたまらないと思います。努力をたくさんしても、なかなか自信はもてないものだし、結果がすぐについてくるというものではありません。でも、やり続けること、継続的に努力することしか、力はつかないのでです。何をするにしても同じです。新しい年がやってきます。大切なことを継続できる力をしっかり身につけてほしいと思います。よいお年を。

令和7年度
第2学期終業式
冬休みを
迎えるにあたって

今年度当初のおさらい
社会に出たときに必要な
自信
自己肯定感（自分はできる!!という気持ち）
自己有用感（自分は誰かの役に立っている!!）

冬休みを迎えるにあたって
目の前のこと
全力で取り組む

目の前のこととは…

日々の生活
家庭学習・受験勉強
部活動・好きで取り組んでいること
あそび・友達との時間
家族との時間
家のこと
自分自身の目標の達成
心身を休めること

学校評価アンケート（保護者・12月実施）から
見えてきたこと

藍中生の課題
学力向上

その原因是
家庭学習時間の
不足

その根拠は



3学期にあること
基礎学力テスト・学年末テスト
1, 2年生徒集会
入試
卒業式・修了式
合格発表・進級

冬休みを迎えるにあたって
合格は
自分の力で
勝ち取る

そのためには
今ここ自分

今、ここで、自分が
考えていることから
絶対に逃げないこと!!
そんな冬休みにしてください!!